

おわりに

平成 27 年度（2015 年度）は、【大学改革実行プラン】（H24. 6. 文部科学省）および【国立大学改革プラン】（H25. 11. 文部科学省）に基づく改革加速期間にあたり、4 月には学校教育法及び国立大学法人法の一部改正・施行により、学長ガバナンスの強化および教授会の役割改定の法環境が稼働した。

学内においては、福田秀樹先生（工）が 3 月末に任期満了で学長を退任され、武田廣先生（理）が 4 月に新学長に就任された。「武田ビジョン」として「世界最高水準の教育研究を行う大学」を目指すとの運営方針と共に重点方策を公表された。

海事科学研究科においては、平成 26 年度に公表したミッションの再定義に則り、平成 25 年度学部改組の学年進行による平成 29 年度大学院改編を見据え、大学院入学定員の改訂申請の準備を進めた。また、第 2 期中期計画期間最終年度として、法人評価の準備及び次期中期計画案の策定を進めた。

本報告書において、平成 27 年度に行った諸活動の自己点検及び自己評価を行い、データ蓄積と共に次期以降の活動計画の参考材料を提供する。